

●個別学習 ■児童生徒実践型

実践タイトル 修学旅行ビデオアワードに挑戦しようーデジタル作品で修学旅行の感動を伝えるー

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

PC

・マルチメディア作品の設計・制作を通じて、メディアの特徴やその複合方法、著作権等を知り、情報を表現、発信できるようにする。

動画

・修学旅行の事前学習として、個人テーマを設定し、デジタルカメラのビデオ撮影機能を利用して、取材したものをサーバーで共有する。

参考にしてほしいポイント

- ・高性能の生徒用PCを活用し、データ量などにも配慮しながらノンリニア編集を体験する。
- ・プレゼンテーションスライドに加え、効果音やアフレコなどの音に関するメディアも複合でき、再現性の高い資料として蓄積できる。
- ・BGMの著作権や使用する写真の肖像権など、知的財産についての理解を深められる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 5	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の生徒作品を鑑賞し、工夫点をあげる。 ・自分の編集作業に参考になる点を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板(作品上映用) ・過去の生徒作品(写真1)
展開 5 45	<ul style="list-style-type: none"> ・制作のポイントに沿って編集作業を行う。 ①データ量等に配慮したメディアの選択 ・動画と静止画のバランス等 ②メディアの特徴を活かした適切な利用 ・BGMの効果 ・文字の色・フォント等 ③伝わりやすい内容 ・キャプションの内容 ・笑いや感動に繋がる表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用PC ・動画編集ソフトウェア ・生徒が撮影した動画、静止画(写真2)
まとめ 45 50	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の編集作業について自己評価する。 ①作業意欲 ②メディアの複合や表現・発信が工夫できたか。 ③教師の準備や言葉かけは役に立ったか。 ④支援してくれた友だちと支援の内容。 ・次時の作業課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価用ワークシート(写真3)



写真1: 過去の生徒作品を鑑賞して、先輩の工夫点をあげる



写真2: キャプションの内容や色使い、フォントを工夫してわかりやすい画面をつくる



写真3: できあがったところを互いに見せ合って、アドバイスを交換する

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・PCの機能を駆使して、独創的なコンテンツを創作することは、生徒の学習意欲を喚起し、高い集中力を維持した授業展開が行われた。
- ・作品発表会を予告し、相互評価で審査することを伝えることが、よい作品を生み出そうとする制作意欲につながった。

活用効果

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や技術への関心・意欲・態度 	具体的容容	<ul style="list-style-type: none"> ・普段流し見ている映像や、ポスターの表現など、メディアの複合や表現・発信の工夫について目が向き、アイデアを尊重しようとする態度を育てることができた。
-------	--------------------------------------------------------------------	-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実践の手応え

- ・動画コンテンツの作成場面を技術・家庭科のすべての題材に位置付けたところ、製作過程のポートフォリオや編集段階での学び直しが必然性をもって行われるようになった。